

JCV journal

Japan Committee, Vaccines for the World's Children

2020
SUMMER
Vol.15

特集 感染症の脅威とワクチン接種

バヌアツ ハリケーン被害の報告と支援のお願い

News ペットボトルキャップ回収のWEBページをリニューアル

バヌアツ ハリケーン被害の報告と支援のお願い

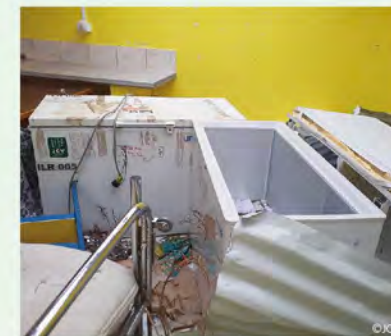
今年の4月上旬、最大風速約69メートルとハリケーンの種類で最も強いカテゴリー5に相当するレベルの強大なサイクロン「ハロルド」が、支援国のバヌアツに上陸し、同国に大きな被害をもたらしました。

特に、昨年視察で訪れたエスピトゥサント島では、同島に上陸した過去最大のサイクロンとなり、サンマ州だけでも住民の約90%が家屋を失い、学校の60%が建物も損傷するなどの被害に遭ったそうです。

ペンテコスト島のメルシンでは、ペナマ州唯一の病院が損壊しました。JCVが支援したワクチンや保冷庫の一部も使い物にならなくなりましたが、急遽、代用として簡易の保冷庫とソーラー発電機を設置し、ワクチン受け入れの体制だけは整えることができました。

6月末現在、バヌアツでは新たな新型コロナウイルス感染者は確認されていませんが、その感染予防にも人手や予算を割かなければならない現状においては、JCVがワクチンで予防可能な感染症への支援を維持し、コロナ対策以外の負担を減らす一助となるのが、復興への支えとなります。

皆さまのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。



破壊されたJCVが支援した保冷庫



設置された簡易保冷庫と発電機

News

ペットボトルキャップ回収のWEBページをリニューアル



子どもワクチン支援活動に協力いただいている全国のペットボトルキャップ回収業者一覧が、都道府県別でご確認いただけるようになりました。1kgあたりの寄付金額や回収条件なども掲載しています。ペットボトルキャップ回収を通じたご支援をご検討いただいている皆さま、ぜひこちらの一覧をご活用ください。



<https://www.jcv-jp.org/donation/pbcap>

郵便局で寄付をする

お手元に届いている払込取扱票で
ご寄付いただけます。



<https://www.jcv-jp.org/contact/pamphlet>

お手元に払込取扱票がない方は、こちらでお申し込みください。

支援の方法

インターネットで寄付をする

クレジットカードやコンビニ
毎月募金でもご寄付いただけます。



<https://www.jcv-jp.org/donation/support>

詳しくはこちらのページをご覧ください。



編集・発行 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
〒108-0073 東京都港区三田4-1-9 三田ヒルサイドビル8F

資料請求・お問合せ 0120-555-895
(月曜～金曜 受付時間 9:00～17:00)

www.jcv-jp.org
デザイン/アーク・フロント株式会社 禁無断転載
JCV Journal vol.15 発行日 2020年7月15日





皆さま、いつも子どもワクチン支援へのあたたかいご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。新型コロナウイルスの流行により、ご不自由やご不安が多いことと思いますが、一日も早く収束に向かい、皆さま、支援国の子どもたち、そして世界中の人たちが感染症に怯えず、笑顔で過ごす日を迎えられることを、心より祈念しております。



新型コロナウイルスの感染拡大

今年、新型コロナウイルス(COVID-19)が世界中で猛威を振るい、多くの人々の命を奪い、今も感染拡大が続いています(2020年6月末現在)。経済や医療の発展により、先進国では身近でなくなった感染症の恐ろしさ、あらためて浮き彫りになりました。そしてその感染症の脅威は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命を奪い続けています。

ワクチンの必要性

感染症は、世界の発展と開発に比例して増え、グローバル化による人の移動と共に、瞬く間に広がりました。世界中の人々の健康や生命を脅かし、社会全体に深刻な悪影響をおよぼす感染症に国境はなく、ワクチン接種が抑止力のひとつです。特に、医療が行き届かない国では、感染症を予防するワクチンが、子どもたちの命を守るために大きな効果を発揮します。

途上国への影響

医師や看護師、病院数も不足し、医療体制が整っていない途上国(支援国)では、ポリオや結核、はしか、そして今回のような感染症の拡大は、日本以上に大きな脅威となります。

子どもワクチン支援のお願い

感染症の脅威は対岸の火事ではありません。子どもワクチン支援活動が続けることは、私たち、そして身近な人たちの命や生活を守ることに繋がります。長くご支援くださっている皆さま、そしてこれから新たに参加してくださる皆さま、引き続き継続したあたたかいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

ブータンの工夫と努力

コロナの影響が続くなかでも、ブータンでは、診療所でのワクチン接種だけはしっかり続けられるよう、1年間に使用するワクチンを国内に備蓄する体制を採り、対策を進めています。「ワクチンで助かる小さな命を守りたい」という皆さまの思いは、現地医療スタッフの努力により、支援国の子どもたちのもとに届いています。



各国では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を起こすことのないよう、大きな会場での一斉接種を実施できず、病院や診療所での接種に切り替えるなど、子どもたちへのワクチン接種活動にも、大きな影響が出ています。

5人に1人の子どもが定期ワクチン接種を受けられない途上国において、一斉接種が実施できなくなることは、ワクチンで予防できる感染症から子どもたちを守る、貴重な活動機会を失うことを意味します。

支援の方法については裏面をご覧ください。